

The 3rd APNG Camp in Taipei

--- New Relationship with the net 報告書

早稲田大学メディアネットワークセンター助手 / JPNIC ng-tf メンバー 史 虹波
2003 年 03 月 14 日

2月20日、21日に台北で開かれた第3回 APNG Camp に参加してきました。今回は2回目の APNG Camp 参加でしたので、Camp の雰囲気やプログラムの流れなどにも適応してきました。

今度のキャンプでは、私は二日目の Internationalized Domain Name Tutorial の司会及び Asia Youth Culture Working Group の chair を務めてきました。2nd APNG Camp in Shanghai と違って、今度のキャンプには初めてチュートリアルが導入、IDN のチュートリアルに加え、Internet Governance チュートリアルがありました。チュートリアルの目的は、インターネットでのホットな話題や技術をキャンプで紹介し、参加者がその知識を学び、講師と一緒に議論しようということです。

Camp の chair である Lee. S Anthony 氏の要請により、Asia Youth Culture Working Group から早稲田大学メディアネットワークセンターの助手潘 健民(Kevin Pan)をスピーカーとして推薦しました。Kevin 氏は初日の Special Event でキャンパスネットワークとキャンパスライフについてのプレゼンテーションをしました。そのプレゼンテーションの中でキャンパスネットワークの教育の難しさなどに触れました。参加者メンバーからの意見やコメントなどをいろいろと多数寄せられました。また、キャンパスネットワークに関する問題は特定の大学や特定の国のみの問題ではなく、どこでもあり得ることであるということで、今後の Camp の話題にするかという動向があります。

翌日の朝 9:00 から Internationalized Domain Name Tutorial が始まって、JPNIC からの米谷氏と TWINC の Hsu 氏が今度の IDN チュートリアルの講師を務めて頂きました。司会役は同じ JPNIC ng-tf のメンバー柴田巧氏と私が務めました。米谷講師は国際化ドメイン名の標準化、その動向などについて紹介しました。また Hsu 講師は中国語ドメイン名の問題点な

どの紹介を行いました。IETFのInternationalized Domain Name Working GroupのchairであるJames Seng氏が今度のチュートリアルに参加しました。チュートリアルには講師を入れて、15名ほどの参加者がいました。同時開催のチュートリアルInternet Governanceと比べて、数は少ないですが、ほぼ参加者の全員が国際化ドメイン名の議論に参加していました。国際化ドメイン名についての関心の高さを伺うことができました。

午後からはAsia Youth Culture Working Groupのセッションがありまして、韓国からリモート参加のBernie Cho氏によるMTVの紹介と柴田巧氏によるメールなどに頻繁に出現するASCIIアートのプレゼンテーションがありました。MTVについての紹介には韓国でのMTVの成功経験は他の国には役にたつのでしょうかという問題からOnline Musicの人气が高まってきた今、MTVは他の国で成功するかどうかというよりも、Online MusicにMTVが勝つことができるかが鍵となるのでしょうかという議論となりました。この議論”MTV vs. Online Music”は次回のWorking Groupの議題にしようという提案がありました。また柴田巧氏のASCIIアートについて、MTVのプロフェッショナルの仕組みよりCampの若者たちの身近的な存在であって、ASCIIアートの必要性、電子メールと手紙の違いなどについての議論がWorking Group全体で広がることができました。今度のWorking Groupのセッションでは新しいchairの選出も行いました。Working Groupのスケジュールの作成などをはじめとするWorking Groupのchairの仕事は他の国、地域から来たメンバーたちとのチームワーク、リーダーシップが求められる仕事であると今度のchair、韓国のKyo氏と私が感じました。仕事は確かに楽ではありませんが、貴重な体験となるので、Working Groupに新しいchairを選出して、皆で体験しましょうと提案しました。その提案が採択されまして、今度のJPNICの支援プログラムで行った佐藤氏と台湾からの参加者であるChiahsuan氏が新しいchairとして選ばれました。

今度のキャンプに参加して、新しいメンバーたちと出会って、皆は異なる分野から来た若者たちであります。インターネットについて自分の考えを述べたり、他人の意見をいったり、皆で議論したりすることによって、非常に有意義な時を過ごしました。また、今度のキャンプは2回目の参加ということもありまして、チュートリアルをはじめ、Working Groupのスケジュールの作成などの事前準備に参加することができました。忙しくて、また意見が合わない時もありましたが、Campをもっと良くしようという目的は皆が同じです。Campはこれから4回目に向かっていますが、今度よりさらによいCampをめざして、皆と一緒に頑張っていきたいと考えています。